

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	民法（Civil Code）					担当教員	井上 芳 （イノウエ カオル）		
科目コード	2013011-033								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	<ul style="list-style-type: none"> ■知識定着・確認型 AL(振返りを講義開始時に実施) ■協同学修型 AL(演習時グループ・ワークを実施) 								

① 授業のねらい・概要									
<p>■授業の目的(ねらい)：</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) 民法は我々の財産関係と家族関係を法的に定め、利害関係の調整・規制を図る法律である。 (ii) 本講はこの民法を試験科目とする就職試験に対処する基礎知識の習得を目的としている。 <p>■概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) 就職試験における民法科目は基本条文が問われており、まず頻出条文の知識を習得させる。 (ii) その後、最近の判例の理解を深めるように指導する。 									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>■地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力 (職業遂行における地域社会との関わりに鑑み、そのための法律上の基礎知識を付与する。)</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>■授業の進め方：</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) 就職試験に必要な項目のみに絞ったテキストの解説を実施する。 (ii) 各節の演習問題の解説を実施する。 <p>■指示事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) 各節の復習を、共有ドライブに掲載された民法レジュメで自宅復習する。 									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<ul style="list-style-type: none"> (i) 講義を受けた範囲の各節の演習問題を自力で回答できるようになる。 (ii) テキスト記載の法律用語を理解し、説明できる。 									
⑥ テキスト（教科書）									
<ul style="list-style-type: none"> (i) TAC公務員講座編 2019年『公務員試験 過去問攻略Vテキスト「民法(上)」初版』 (ii) TAC公務員講座編 2019年『公務員試験 過去問攻略Vテキスト「民法(下)」初版』 									
⑦ 参考図書・指定図書									
なし									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		10%			40%		100%
(i) 演習問題の回答力	30%		5%			20%		55%
(ii) 法律用語の理解力	20%		5%			20%		45%
(iii)								
フィードバックの方法	各節終了後、自宅での復習課題を課し、次回講義冒頭で模範解答を示す。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
■昨年度担当なし。公務員試験受験だけでなく、社会人としての民法知識理解の為の受講も勧奨する。民法は社会生活を営む上で不可欠な知識で、学生生活のうちに一度は学んでいただきたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・総則1 (民法全体)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
2	総則2 (権利の主体2-1)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
3	総則3 (権利の主体2-2)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
4	総則4 (法律行為と意思表示)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
5	総則5 (代理)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
6	総則6 (時効)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
7	物件1 (所有権)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
8	物権2 (物権変動)	Vテキスト 「民法（上）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
9	物権3、債権1 (即時取得、債権とは、目的)	Vテキスト 「民法（上下）」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分

10	債権 2 (債務者の責任財産の維持)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
11	債権 3 (債権の消滅)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
12	債権 4 (売買)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
13	債権 5 (賃貸借)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
14	債権 6 (不当利得・不法行為)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分
15	親族・相続 1 (婚姻)	Vテキスト 「民法(下)」	・各節の、「ポイント整理」復習	30分

⑪ アクティブラーニングについて

- 協同学修型ALを採用する。
- 各内容について講義を行う。
- 学生自ら演習問題を解かせ、条文等の理解力を高めさせていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

- 金融機関では、支店営業での営業推進/審査部で融資先審査・企業再生/市場営業部で市場性商品相談/事務統括部で市場性商品運用/国際業務部で取引先国際化支援・営業店指導/外為 Web 取引及び各国取引等相談、等の役職経験がある。
- システム開発会社では、システム設計/システム開発/システム運用、等の役職経験がある。
- 手形交換所では、地域金融機関の業務支援/信用情報管理/法人運営管理などの管理経験がある。
- 経営コンサルタントとして、新潟県産業創造機構の事業承継プロコディネーター/海外展開支援専門家/地域中小企業各社の経営指導経験がある。

実務経験と授業科目との関連性

- 金融機関での、顧客資金管理における民法をベースとした法的相談対応経験は、本講義との関連が高い内容である。また顧客審査における企業経営の確認において、民法を踏まえた判断を実施しており、その経験が本講義実施に活かされる。
- 経営コンサルタント業務では、経営指導対応や事業承継対応において民法を意識した対応が不可欠で、本授業科目との関連が極めて高い業務を実施している。その経験も講義実施に生きることになる。